

生徒指導通心



2025.3.6 卒業生号
生徒指導主任 川崎洸嗣

三年生の100名の皆さん、一足早くに、卒業おめでとうございます。卒業式を明日に迎えた心境はいかがですか!? かつてはコロナウイルスで卒業式を開催できなかった年度もありますが、今回は最大に、先生達も在校生のみんなも、保護者も来賓も交えて、卒業生を盛大に送り出す気持ちを持っております。何より私は皆さんと一年生の時から東和に赴任し、少し距離はありましたが、3年間毎日の中学校生活を共に過ごし、皆さんの成長を見てきたつもりです。小学生から新たな希望をもって入学したあの日から三年間、皆さんは立派な中学生、大人になりました。皆さんが先輩から受け継いだ東和中学校を更に、一、二年生の皆さんに**継承**されていきます。そんな皆さんに、感謝の思いを込め、この生徒指導通心をプレゼントします。心を開いて読んで下さい。

【「1000日修業夢をもつことは大切」～行動あるところに、必ず道は開かれる～】

年間を日数に換算すると、約 1000 日になります。仏教の世界や芸事などでは、修行期間の目安としてよく使われるのが、この 1000 日という区切りです。皆さんにとっては、中学校3年間がまさに「1000 日修業」の場になったはずです…。先生達にとっては成長する皆さんが安心して学校生活を送れるように見守ることが「1000 日修業」でもありました。安心して学校生活を送れたでしょうか!?

決して、順風満帆な3年間ではなかったと思います。しかし、苦労した分だけ、成長につながったことは間違いありません。よく「**失敗は成功のもと**」と言われますが、大きなことを成し遂げる人の裏には、必ず失敗や辛い経験があります。だから、少々の失敗や挫折を、いつまでもくよくよする必要はないのです。前を向いて、いろいろなことに challenge していきましょう! 「成功」の反対は「失敗」ではなく、「**何もしないこと**」なのです。行動あるところに、必ず道は開かれます。自分の可能性を信じてこれからも突き進んでください。



《宮本武蔵》

江戸時代を代表する剣術家、巖流島で佐々木小次郎と対決したことで有名な宮本武蔵が『五輪書』の中で、「千日の稽古をもって鍛とし、万日の稽古をもって錬とす」と言う言葉を残しています。これは、「鍛錬」の語源となった言葉です。「鍛」は基礎が定着するということ、「錬」は一つの道として揺るぎなく完成すること。「鍛」には千日を要し、「錬」には万日を要するということで、継続的な努力の大切さを説いています。

この3年間を見てきて、一番皆さんを尊敬することは、三年生皆さんが、各個人が前向きに、または、毎日の生活の事を考え、実行してきたことだと思います。一人一人の思いが、東和中学校と関係を深め、周りのみんなを幸せにし、最後には自分自身の成長に繋がることをしっかりと学習してきました。その証が今の自分です。皆さんの中学校三年間で成長した姿は、保護者、東和中学校の職員、一、二年生の在校生たちは絶対に忘れません。これからの活躍を楽しみにしております。

【夢をもつことは大切～夢は未来の自分の実現へのバトン～】

夢を語ったことはあります!? 「そんな恥ずかしいことできない」と思っている人はいません!? 夢や希望は人生を切り拓く**原動力**です。それだけじゃなく、どんな夢や希望をもつかによってその人の「生き方」の方向性が決まります。友達・家族・先輩・先生等に、大きな大きな夢を聴いてもらいましょう。

夢は、言い換えると「**やりたいこと**」「**興味関心のあること**」です。簡単にあきらめることができない夢を持ちましょう。そして最後までやり切れる夢を持ちましょう。最後には必ず自分の思い描いた人生を見つけ出し突き進みましょう。

まさに今その人生の岐路に立たされているのが皆さんです。次に坂本龍馬の言葉を紹介します。この言葉を参考に、皆さん違った進路に進んでも、夢の実現を目指し、またどこかで東和中学校第 77期生が集結することを心より楽しみにしております。

夢は自分が進む**道標**になり、人生のなかで選択をする時の**基準**となり、夢はココロの**栄養**となる

【幕末を生きた坂本龍馬～道は切り開き、進むもの～】

人の世に道は一つということはない。

道は百も千も万もある

幸せというのは、ひとつではありません。人と比べ、世間が作りだす幸せのイメージだけが幸せだと決めつけるのも良くありません。また幸せへの道は一つの事だけで決まる訳でもありません。自分で様々な道を開いていく事で見つけられるものなのです。希望を持って前に進んで行く事が大切です。不安も希望も入り混じっている今だからこそ前向きに考えるようにしましょう。



【生徒指導からお祝いの言葉】 明日はいよいよ卒業式となっております。この三年間、貴重な三年間だったことではないでしょうか!? 考える時間や、感じた発見は、今後皆さんの未来を明るくする力となることは間違いありません。

お祝いの言葉として、皆さんに私が大事にしている「**堅忍不拔**」という言葉を紹介합니다。「**堅忍**」は、がまん強く、じっと耐え忍ぶこと。「**不拔**」は、抜くことができないという意味から転じて、意志がしっかりしていて何事にも動じないということです。この三年間で一段と耐え忍ぶ力を鍛錬したのではないのでしょうか!? しかし、時にはつらい時も、逃げ出したいときもあったと思います。それを耐えることができたのは、先生、友人、何より家族がいたからだという事は、決して忘れてはいけません。どんな時も感謝の気持ちや、相手を尊敬する心を持ち、これからも歩み続けてください。一、二年生にとっては尊敬する上級生でした。どんな時でも東和中学校生の心は一つです。今後の東和中学校第 77期生の益々の発展を祈念して、卒業の言葉とします。一足早いですが…

本当にご卒業おめでとうございます!!



東和中学校 生徒指導主任 川崎洸嗣